

情報科学 (Informatics)			
基礎教育科目	医学科1年	集中講義	必修1単位
担当者	木村 通男 教授 谷 重喜 准教授		
連絡方法			
一般目標	ネットワーク環境での計算機を道具として十分活用できるようになる事を目指す。		
達成目標	① ネットワーク環境での計算機の基本操作を習得する。 ② ワードプロセッサ、表計算、統計処理、プレゼンテーション作成のプログラムの利用法を習得する。また、文書作成の作法についても触れる。 ③ 文献検索の利用法を習得する。 ④ ホームページの作成法を習得する。		
医学教育における位置づけ	学生時代から医師としてのキャリアを通じて用いる情報技術を習得する。また、基本的な計算機動作原理を紹介し、簡単なプログラム（スクリプト）を作成することを通じ、計算機を使うのであり、計算機に使われるのではないことを初期に確認する。		
授業形式	本学情報処理センター研修室のパーソナルコンピュータを用いて、機器の立上げ、ワードプロセッサ、表計算、統計処理のプログラムを利用実習し、ネットワーク上での情報検索の方法を学び、レポート等のプレゼンテーションの作成方法を習得する。		
授業資源	本学情報処理センター研修室研修用パーソナルコンピュータ		
成績評価	提出されるレポートと、作成したホームページによる。 出席状況30%、提出レポート30%、作成ホームページ40%		
教科書	教科書は年ごとの変化が著しい分野であるため開講時に指示する。		
参考書			
メッセージ			
備考			

授業計画	
回	主題及び内容
1	情報処理実習室のPCの使い方、大学の無線LANなどの使い方
2	ワードプロセッサでの文書作成
3	インターネットへの接続、検索
4	表計算を用いてのグラフ作成、書類作成
5	表計算を用いての簡単な統計処理
6	文献検索
7	スライドプレゼンテーションの作成
8	各自のホームページの作成
備考	

情報科学 (Informatics)			
総合科学	看護学科3年編入生	前期	必修1単位
担 当 者	谷 重喜 准教授		
連 絡 方 法	来室や電子メールなど オフィスアワー 随時(要連絡)		
一 般 目 標	看護学と関連領域に関わる情報を話題性のある事例を教材にし、要点の把握に必要なポイントを統計学の視点から捉え、データ処理や分析を行う能力を身につける。また、近年重要となってきたレポート作成やプレゼンテーションに必要な基本的な技術を身につける。		
達 成 目 標	①統計処理の対象となるデータの収集手法・分類・分析・加工など一連の流れを把握する道筋を理解する。 ②対象となる母集団や標本化など、データのサンプリングについて理解する。 ③集められたサンプルに関する検定など、統計処理の基礎的処理の手法を習得する。 ④統計処理結果の妥当性や棄却など、結果の解釈手法を習得する。 ⑤統計処理に付随する各種表現手法（グラフ化、作表など）を習得する。 ⑥コンピュータを利用した統計処理手法を習得する。 ⑦処理結果の効果的なプレゼンテーション手法を習得する。		
看護学教育における位置づけ	大学教育の実習・実験におけるデータ処理から将来の病院看護業務に至るまで、様々な現象を記録、管理、報告する過程に統計手法が関わっている。		
授 業 形 式	講義（40%）、事例による演習とディスカッション（40%）、コンピュータ実習他（20%）		
授 業 資 源	配付プリント+統計資料+インターネット		
成 績 評 価	試験（40%）、レポート（30%）、講義出席状況（20%）、ディスカッション他（10%）を総合して評価を行う。		
教 科 書	適宜、参考となるものを提示する		
参 考 書	数学的な処理の参考として、高等学校の教科書を理解してほしい。 コンピュータソフトの「EXCEL」「WORD」「PowerPoint」など、各自の能力に応じたマニュアルや関連書籍を参考にしてください。		
メ ッ セ ー ジ	不確かな知識よりも確実な知識を礎にし、科学的根拠に基づいた視点で、日々起きる現象を統計学の視点から楽しく習得できるようにしたい。		
備 考	標準的な履修を2年前期としているが、他の学年においても履修可能な学生の受講を受け入れる。		

授業計画		
回	主題	項目
1	プロローグ1	各種レポートの書き方・読み方、プレゼンテーション手法、グラフ化など
2	プロローグ2	さまざまな現象の多角的な捉え方と統計学との関わり
3	演習1	日常的視点と科学的視点を比較し、様々な現象や量れるもの、量れないものの対象をどのように処理するか
4	演習2	対象となる現象が少量データの場合の取り扱い
5	演習3	対象となる現象が大量データの場合の取り扱い
6	演習4	定性的な対象と定量的な対象は、如何にして処理するか
7	演習5	総合的な統計処理手法の選択方法
8	エピローグ	総合的な統計処理からプレゼンテーション手法への道筋
備考	回の表示は、授業の流れを参考として提示したもので、実際の授業回数ではありません。	